

# ここから

～個々のカラーを、ここから発信します～



神島田こども園 園児作品「段ボールアート」

## 年度の始まりに当たって

社会福祉法人 永美福社会 理事長 沢田 一郎



皆さま方には、日頃より当法人事業にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

今年元旦に起きた能登半島地震から始まりました。この地震では多くの方がお亡くなりになり、また甚大な災害に遭遇された皆さんの報道を見聞きするにつけ、いたたまれない感情が湧いてきます。能登半島の自然の厳しさを思うと、ご不自由な生活とご苦労は大変なことだと感じております。

私は金沢で学生時代を過ごしたこともあって、能登半島には当時何度も足を運んでいました。第二の故郷のような存在でもあった様々な景色が大きく変わってしまった報道を目にするたびに愕然としています。そもそも私の仕事の原点は、金沢市郊外にあった知的障がい児施設でのあの子（人）たちとの出会いでした。その後、愛知県で公務員になり児童福祉と障がい者福祉に関わり、今に至ります。そんなこともあって当時の金沢と能登半島の景色は50年を経た今でも色あせることなく、鮮やかに私の脳裏に蘇り続けています。この地震災害からの復興はとても厳しいものがあると感じます。息の長い支援が必要になることでしょう。今後も私なりに応援し続けていきたいと思っています。

当法人は利用者家族の方々をはじめとして地域ニーズに應える形で事業を行ってきました。これからもその思いを受け止めつつ、事業の充実をはかって行きたいと考えております。

近年、福祉に関わる人材の不足が急激に進行しつつあります。制度に起因する待遇面の課題や働き方の課題が背景にあります。国や自治体においては、支援する人たちに向けた諸施策の充実を強く要望するものです。今後も福祉事業に関わる人たちが、この仕事の大切な意味や役割に自信をもって生きがいを持って取り組んでいけるように、私たち関係者一同、力を注いでまいりたいと思います。皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 施設紹介・施設長挨拶



しらさぎ福祉園  
園長 野呂大悟

しらさぎ福祉園に7年ぶりに戻ってきました。  
少し浦島太郎状態ですが、また改めて  
0から様々なことに挑戦できるよう努めてまいります。  
“stay hungry stay foolish”  
「いつまでも貪欲に いつまでも無知でいろ！」を  
心に秘めて頑張ります！！



しらさぎケアホーム  
管理者 松永信行

しらさぎケアホームは、共同生活援助事業所（グループホーム）です。  
障がいのある方々の「暮らし」をサポートさせていただいております。  
豊かな暮らし=幸せな人生と言っても過言ではないと  
思っております。今後とも、グループホームのご支援・  
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

趣味はいろいろと嗜んでいますが、和太鼓が一番長く  
続いています。昨年の「しらさぎふれあいフェスタ2023」  
でも演奏させていただきました。ありがとうございました。



しらさぎホーム  
ヘルプステーション  
管理者 山田典正

しらさぎホームヘルプステーションは、平成16年4月の事業開始より20年  
近く経ちました。現在、常勤3名と登録ヘルパー約14名で支援を行っていま  
す。コロナ、インフルエンザ等の流行やスタッフの人員不足が続いており、  
運営は大変な状況ではありますが、利用者の方が安心・  
安全で快適な生活ができるよう支援をしていきます。  
そのためにもスタッフ研修等も充実したものになる  
よう努めてまいります。  
今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますよう  
お願い申し上げます。



唐臼こども園  
園長 松永真希子

唐臼こども園は、昭和53年12月に社会福祉法人永美福祉会が設立され、  
「唐臼保育園」として保育所のスタートを切ってから46年目。幼保連携型認  
定こども園となってからは7年目、「唐臼こども園」の名称になってからは3  
年目を迎えます。時代に合わせた地域のニーズを捉えながら、「子ども同士の  
育ち合い」を大切にされた保育を行っています。

私自身は園長になって11年目。仕事と子育ての両輪を  
支える者として、在り続けられるよう精進していきます。





彩雲館  
管理者 佐伯典昭

彩雲館は、生活介護事業所として、現在 40 名程の利用者の方が通所されています。作業活動や療育活動を通して支援を行っています。利用者の方の中には、気持ちを言葉では表現できない方も多く、職員との関わりの中で、それぞれが表現できるコミュニケーション方法を模索しています。その中で、利用者の方から見せてくれる表現や笑顔、個性を受け止め、大事にしていくように心掛けています。



彩雲館ケアホームは、共同生活援助事業所として、令和元年に1棟目を愛西市に、令和6年5月からは2棟目を津島市にて開所予定です。安心、安全に生活が送れるように心掛けながら、ホームに帰ってきて「ほっ」とできるような居心地の良い環境を作っていけるように努めています。また、ご本人ができることはご自身で行いながら、実りある生活を送れるようにしていきたいと考えています。



かるがも園  
園長  
彩雲館ケアホーム  
管理者  
吉田一江

かるがも園は、親子通園としてずっと変わらず、お子さんとお母さん（保護者）が主人公。目には見えない気持ちを育み、人との関係の礎をつくっていくことを大切にしています。お子さんはお母さんがいることで安心し、お母さんはお子さんのことを愛おしく思うその気持ち、人っていいなと思える手ごたえを感じてほしいと思い、支援をしています。



ありのままの自分を出せる場所・喜怒哀楽を大人も子供も出せて受け止めてもらえる場所。子育てのベース、子育ての応援団として今後も一緒に考えていくことを大事にしていきます。



神島田こども園  
園長 沢田里美

神島田こども園は、平成 26 年 4 月に津島市より民間移譲されて 10 年。その間、令和元年に大規模修繕工事をし、令和 2 年に幼保連携型認定こども園へ移行して、令和 4 年に「神島田こども園」になりました。自然と地域のふれあいの中で、子育ての輪が広がっています。法人の設立から 45 年を見守り、私も後期高齢者になりました。いつまで子どもたちとともに歩んでいけるかわかりませんが、地域の福祉教育ニーズに寄り添っていきたく思います。





# ほほほ

～ほんわか・ほっこり・ほほえましい～

そんな一場面をお届け致します！

かるがも園

彩雲館ケアホーム

「学校や園がお休みのきょうだいも一緒にビンゴ、園庭でランチタイムしたよ🎵」



神島田こども園

クリスマス会での一コマ。  
大好きなパスタ、ピザ、唐揚げ、ポテトなどをお腹いっぱい食べました。

彩雲館

カラーセロハンを使って外の景色を覗いてみたよ♪「赤色になっている！」「2つの色重ねたら何色かな？」



唐臼こども園

土曜開所でブッシュドノエルを作りました！クリームたっぷり美味しくかったです(∇∇)/

ホームヘルプステーション

園庭で砂場遊び♪  
先生見てみて～！「ジュース作ったよ！😊」と見せてくれました🌟



かわいいスリッパ♪  
ホームで履くよ☆

しらさぎケアホーム

しらさぎ福祉園

収穫体験に行きました。  
大きいサツマイモにビックリ！！

毎年恒例の冬のお楽しみ！！  
みんなで出掛けることも貴重な時間です。



# 令和5年度 法人研修報告

～法人研修委員会より～

1回目:令和5年9月16日(土)

2回目:令和6年2月17日(土)

9月の研修では、社会福祉法人ぬくもり福祉会、生活介護事業所ぬくもりの家、共同生活援助事業所アットホームの管理者、飯野恭央氏を講師に招き、「虐待防止・身体拘束適正化」をテーマに研修を行いました。

人権・権利擁護について、憲法・条約・法律の基本を学び、虐待・身体拘束の話へと講義が展開し、傾聴しました。また、自らの職場の例を出され、それぞれが身近なことだと捉えることができ、適切な支援と不適切支援とのラインをそれぞれの事業所で話し合い、合意ラインを決めることも大切だと教えていただきました。

また、研修後には、事前にとった各事業所のアンケートをもとに、職場に戻り、話し合いの場を持ちました。



今回は、講義中心の研修で、テーマに沿った深い学びとなりました。

2月の研修では、社会福祉法人百千鳥福祉会、特定非営利法人百千鳥、株式会社マゼンダ CEO、竹田晴幸氏を講師に招き、「対人援助の魅力と可能性」をテーマに研修を行いました。今回の研修のワークでワールドカフェ方式を取り入れ、研修会場として津島市生涯学習センターの小ホールを借り、66名の参加者のもと、行いました。

講義では、自らの生い立ちの振り返りから始まり、今に至ったターニングポイントを語られました。私たち自身、同じように自分の人生を振り返ってみて、自分の中の固定概念やとらわれに気づくことができ、仕事への向き合い方や魅力を改めて感じることができました。

ワールドカフェ方式のワークでは、「仕事の意義」をテーマに話し合いました。「意義」が難しいという声も出ていたようですが、他の言葉に置き換えたりしながら、他事業所の方たちと話すことで、自分の気持ちに気づいたり、深い学びに結びつきました。参加者からは、あっという間に時間がすぎた、楽しかった、もっといろんな人と話したかった等の言葉を、アンケートでいただきました。

これらの研修で得た気づきをそれぞれ職場に持ちかえり、一人一人の支援の向上を図るとともに、各事業所の質の向上を図っていきけるような研修を考えていきたいと思えます。

アイスブレイク後のワールドカフェでは、話も盛り上がりました。



# 法人からのご案内



最新の情報は  
ホームページへ  
こちらの  
QRコードから



## 法人へのご寄附ありがとうございました。

法人事業に対してご寄附をいただき誠にありがとうございます。  
令和5年9月1日から令和6年1月31日までの受付分

山田幸成 株式会社アマ保育 侘美和子 合資会社本多商店 片岡達雄 大原幸生 有限会社カネミツ電器  
江本喜代美 鈴木ヒサ子 早田愛美 藤野憲一 伊藤 修 栗田節子 土谷五助 太田乗正 伊藤金明  
吉田寛徳 服部秀樹 服部陽子 齊藤 剛 山本 昇 山本宏哉 岩間経之 浅井晴美 川村泰子  
須山清温 石川 勇 玉崎邦夫 石塚英樹 竹田 敦 竹田 寛 清水葉子 濱田 元 戸谷貞子  
垣見昌宏 山口利恵子 福田武実 矢埜恵子 沢田一郎

誌面掲載同意を頂いた方のみ掲載しております。  
(順不同 敬称は省略させていただいております。)

## 永美福祉会 事業所紹介

<p><b>唐臼こども園</b></p> <p>★所在地 〒496-0026 津島市唐臼町郷裏 55</p> <p>★電話 : 0567-32-2126</p> <p>★FAX : 0567-32-2328</p>	<p><b>神島田こども園</b></p> <p>★所在地 〒496-0025 津島市中一色町東郷 4</p> <p>★電話 : 0567-31-0672</p> <p>★FAX : 0567-31-1805</p>	<p><b>かるがも園</b></p> <p>★所在地 〒496-0045 津島市東柳原町 3-69</p> <p>★電話 : 0567-27-3915</p> <p>★FAX : 0567-27-3916</p>	<p><b>法人事務局</b></p> <p><b>しらさぎケアホーム</b></p> <p>しらさぎホーム しらさぎの家 しらさぎ第2ホーム しらさぎハイム ホームV6</p> <p><b>彩雲館ケアホーム</b></p> <p>七彩ホーム いろどり</p> <p><b>しらさぎ相談支援事業所</b></p> <p>★電話 : 0567-25-8290</p>
<p><b>しらさぎ福祉園</b></p> <p>★所在地 〒496-0004 津島市蛭間町弁日 177</p> <p>★電話 : 0567-25-8226</p> <p>★FAX : 0567-27-4080</p>	<p><b>しらさぎ ホームヘルプステーション</b></p> <p>★所在地 〒496-0004 津島市蛭間町弁日 176</p> <p>★電話 : 0567-24-7729</p> <p>★FAX : 0567-24-7799</p>	<p><b>彩雲館</b></p> <p>★所在地 〒496-0863 津島市上之町 1-54-2</p> <p>★電話 : 0567-24-7111</p> <p>★FAX : 0567-28-5551</p>	

## 彩雲館からのお知らせ

令和6年1月5日に公益財団法人 JKA 様より福祉車両の  
補助事業を受け、ハイエースワゴン（10人乗り）を購入させていただきました。  
送迎や外出活動等、利用者方が楽しめる活動に活用させていただきます。  
公益財団法人 JKA 様、ありがとうございました。



## 編集後記 「辰」「龍」「竜」

編集後記に何を書こうかと、干支にまつわる一言を調べていると、“たつ”には「辰」「龍」「竜」と漢字があり、その違いが気になり調べてみました。

「辰」は『十二支のひとつ』

「龍」は『空想上の生物』

「竜」は『龍を簡単にした字』（字としては「竜」の方が古い等、諸説あるようですが）  
とのことで、「辰」という字には元来「竜/龍」の意味は含まれず、あくまで  
十二支におけるシンボルとして「竜/龍」が割り当てられているそうです。

干支もそうですが、誰が、何のために…等考えると歴史というものは深く  
面白いものですね。ひとつ勉強になりました。

永美福祉会の歴史は1978年（昭和53年）から始まり、45年が経ちました。  
46年目からも、登り龍のように上昇していけたらと思います。

～『ここから』を通して、皆さまとのこれからを～



広報委員会 一同